

こけし **愛** に導かれて

～ 日本こけし館 **50** 周年～



大崎市公式SNS

充実した情報をお届けします。ぜひ、登録してください。

こけし愛に導かれて 日本こけし館50周年



▲「日本こけし館」50周年を祝う工人たち

「日本こけし館」の由来記には「素朴な東北の心を永く世の多くの人に提供したいというねがいがある」と記されています。
昭和50年に開館した「日本こけし館」は構想から完成まで約20年余りの歳月を費やしました。開館までの道のりは平坦ではありませんでしたが、こけしを愛する人たちの思いと夢が実を結びました。
令和7年9月で「日本こけし館」は開館から50年の節目を迎えます。「日本こけし館」の歩みと次世代へ鳴子こけしを継承する取り組みについて紹介します。

鳴子こけしの歴史

江戸時代後期に、木地師が子どものために玩具として作り与えたのがこけしの始まりとされています。その後、時代の流れとともに土産品として売られ、観賞用に発展しました。

「伝統こけし」は、主に東北地方で製作され、11の系統に分けられます。その中でも「鳴子こけし」は、首を回すと「キュッキュッ」と音が鳴るはめ込み式になっていることや、胴に描かれる「重ね菊」の模様が特徴的です。

また、工人の手で一つ一つ丁寧に作られたこけしは、姿や表情もさまざまで、工人の個性が色濃く現れる特徴が魅力です。

日本初こけし博物館の夢

深沢要

「日本こけし館」の誕生に多大な影響を与えたのは、こけし研究家の深沢要氏（東京都出身）でした。深沢氏は詩人兼童話作家でこけしをこよなく愛し、東北のこけし産地を精力的に巡り、研究に取り

組みました。数あるこけし産地の中でも、特に鳴子温泉地域に愛着を持ち、工人たち一人一人の元を訪ね歩きました。

深沢氏は研究の成果を著書『こけしの追及』に残しました。その中で「こけし博物館」建設の構想を描きながらも昭和22年、夢が実現する前にこの世を去りました。

しかし、生前から深沢氏を知る人たちによってその意志は受け継がれ、鳴子温泉地域の温泉神社には歌碑が建立されました。これを記念して始まったのが「鳴子こけし祭り」（現在の「全国こけし祭り」）です。

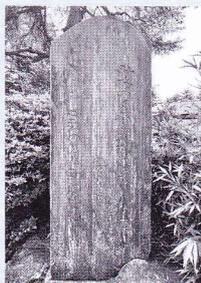


▲今もなお語り継がれる深沢 要

「日本こけし館」の誕生と深沢コレクション

歌碑の建立と「鳴子こけし祭り」の開催によって、深沢氏との関わりがさらに深まった旧鳴子町に、昭和28年、深沢コレクション（深沢氏が生前に集めたこけし）570点が寄贈されました。このコレクションの寄贈が契機となり、深沢氏の夢であった「こけし博物館」の構想が動き出しました。そして、昭和50年9月、ついに「日本こけし館」は開館しました。

深沢氏をはじめとする、こけしを愛した先人たちの思いが受け継がれた「日本こけし館」には、現在、名作ぞろいの深沢コレクションや東北各地の伝統こけしなど、さまざまなこけしが展示されています。「日本こけし館」に足を運んで、こけしの魅力に触れてみませんか。



▲歌碑「みちのくは 遥かなれども 夢にまで ころの山山 ころのこけし」

全国から寄せられた奉納こけし

「日本こけし館」開館のきっかけはもう一つあります。それは昭和32年から毎年、全国の工人たちがこけし祭りへ「奉納こけし」を送り続けたことです。

工人たちが、その技術の向上と発展を祈願し、温泉神社にこけしを奉納します。「全国こけし祭り」の成功などさまざまな願い、そしてこけしに対する感謝の思いが込められています。

奉納こけしは、こけしの歴史や文化を伝える貴重な存在として、今もなお大切に保存されています。

「日本こけし館」開館50周年記念事業 「奉納こけし展」

☎ 日本こけし館 ☎ 83-3600

開館した昭和50年に寄せられた奉納こけしを一堂に展示します。

師匠と弟子のこけしを並べて展示するなど、さまざまな工夫を凝らした特別展です。

大切に受け継がれてきた工人の技と、素朴で愛らしい伝統こけしの魅力を堪能してみませんか。

期間 7月24日(木)～12月31日(水)

場所 日本こけし館(鳴子温泉字尿前74-2)

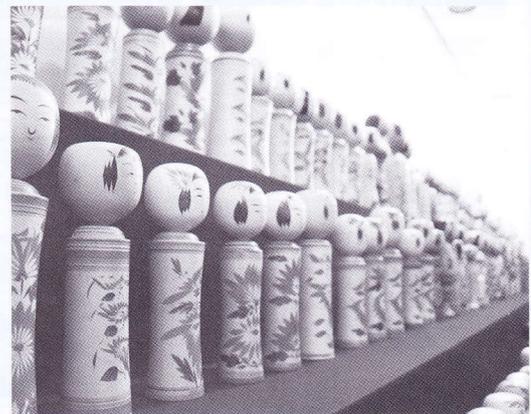
料金 大人500円、高校生300円、中学生200円、小学生150円

特典 期間中は市内の高校生以下入場無料

詳しくは、日本こけし館ウェブサイトを確認してください。



▲展示に向け丁寧に拭き上げます



▲昭和50年に寄せられた奉納こけし213点

未来へつなぐ鳴子こけし

5月21日、「日本こけし館」開館50周年記念事業の一環として、こけしの材料となるミズキの植樹が行われました。

ミズキの木材は白くキメ細やかで、節や年輪があまり目立たないという特徴があります。その特徴から工芸品の製作に適しているため、多くの鳴子こけしの材料として使用されています。

当日はこけし工人など約15人が参加し、50本の苗木を丁寧に植えました。ミズキの苗木は植えてから材料として使用できるようになるまで、約20年の歳月を要します。今回植樹したミズキは、未来の鳴子こけし作りを担う工人たちに受け継がれます。



▲一本一本丁寧に植樹する工人たち

田植え体験を行いました

5月23日、加美町で、おさき日本語学校の留学生28人が昔ながらの田植えに挑戦しました。

留学生は、加美町の農業法人KAMIKUSの協力の下、加美町立鳴瀬小学校5年生の児童5人と共に体験しました。

多くの留学生にとって、手植えによる田植えは初めての体験でした。初めは泥の感触に驚いたり、足を取られたりしましたが、児童にコツを教わりながら、苗を次々と植えていきました。

留学生は児童に日本語で自己紹介をしたり、おにぎりを食べたりして、日本語や日本文化を学びました。

また5月25日、古川地域で、本市のブランド米『ささ結』の田植え体験会を開催しました。

本体験会は、全国ササニシキ系『よこ王』決定戦第2代ささ王の坂井美津男氏の協力を得て毎年開催し、今回で10回目となります。

家族連れなど、市内外から約30人が参加し、泥んこにな

りながら、田植えを楽しみました。田んぼに生息する生き物にも関心をもち、観察したり触れたりしたことで、生き物と共生する「大崎耕土」の農業への理解が深まりました。



▲交流を深める児童(左)と留学生(右)



▲真剣なまなざしで、丁寧に『ささ結』の苗を植える参加者

CITY TOPICS

まちの話題や
出来事、
ニュースを
お届けします!



学校法人國學院大學と観光まちづくりに関する協定を締結しました

5月30日、「大崎市と國學院大學との相互連携及び協力に関する基本協定書締結式」を行いました。

本協定は、國學院大學が持つ知識やノウハウを活用し、観光まちづくりを通じた市民生活の向上、教育・研究の推進や地域の発展と人材育成を目的としています。

國學院大學は、令和4年度から「観光まちづくり学部観光光まちづくり学科」を創設し、全国の歴史や文化、自然を見つめ、観光を基軸として持続

可能な「まちづくり」について考える取り組みを入れていきます。本市においても以前から、鳴子温泉郷の観光マネジメントについて、協力を得ていました。

今後は協定に基づき、市の観光まちづくりに関する知識や経験と、大学が保有する知的財産、人材、技能などをそれぞれに生かし、観光まちづくりを推進していきます。



▲協定書への署名



▲協定書を取り交わした伊藤市長(中央左)と國學院大學学長 針本 正行 氏(中央右)

7月の移動図書館 「きらり号」



古川地域	9日(水)・23日(水)	9:45～10:30 清滝地区公民館
松山地域	4日(金)・18日(金)	9:50～10:35 松山駅前区集会所
		11:10～11:55 下伊場野水辺の楽校駐車場
三本木地域	4日(金)・18日(金)	9:50～10:35 松山公民館
		13:40～14:25 三本木総合支所駐車場
鹿島台地域	11日(金)・25日(金)	14:50～15:40 南谷地集会所
		11:05～12:05 鹿島台総合支所駐車場
岩出山地域	9日(水)・23日(水)	13:25～14:25 鹿島台公民館
		14:55～15:25 旧鹿島台第二小学校
	2日(水)・16日(水)	11:00～11:45 真山地区公民館
		13:40～14:25 有備館の森公園駐車場
鳴子温泉地域	10日(木)・31日(木)	14:50～15:35 ウジエスーパー岩出山店
		13:30～14:15 あ・ら・伊達な道の駅
	2日(水)・16日(水)	14:45～15:30 スーパーセントラルトラス ト岩出山店
		10:40～11:25 鬼首地区公民館
田尻地域	1日(木)・15日(木)	13:05～13:50 中山コミュニティセンター
		14:15～15:00 湯めぐり駐車場
		10:10～10:55 鳴子総合支所駐車場
田尻地域	1日(木)・15日(木)	11:20～12:05 川渡地区公民館
		10:35～11:35 大貫地区公民館
		13:05～14:00 沼部公民館
田尻地域	1日(木)・15日(木)	14:25～15:20 ウジエスーパー田尻店

※悪天候などの事情で、運行を中止・変更する場合があります。

子育て支援情報

子育てイベントや講座、育児相談などの情報を市ウェブサイトに掲載しています。ぜひチェックして、日々の子育てに役立ててください。



※詳しくは、各子育て支援センターまでお問い合わせください。



大崎市乳幼児健診・相談予定表

乳幼児健診・相談の日程や持ち物は、市ウェブサイトを確認してください。



予防接種

各予防接種の対象年齢や助成内容など、詳しくは、市ウェブサイトを確認してください。



天人

市長コラム

大相撲哀歓

今年には日本相撲協会が設立100周年という記念すべき節目、慶事の年です。相撲は、日本の伝統文化であり、国技として、また、国民的娯楽として大相撲へと発展してきました。

最近では、スモジョ(相撲女子)と言われる若い女性ファンや、外国人ファンも増えており、連日満員御礼の盛況です。

さらに追い風も続きます。所要13場所、史上最速スピード出世の第75代横綱、大の里の誕生で、祝祭感もあります。本県出身の時疾風関も令和7年の夏場所では、堂々の勝ち越しを果たし、年内三役入りへの期待が高まっています。

一方で、少子化やスポーツの多様化などの影響もあり、かつて千人ほどいた力士は今や、半減しています。2年後の令和9年には全国中学校体育大会から相撲競技が無くなってしまいます。

このまま推移するとアマチュアも大相撲も衰退してしまいます。

さらに歴代最多45回の優勝、横綱在位14年など、希代の横綱、宮城野親方(第69代横綱白鵬翔)が相撲協会を退職するという衝撃的な出来事がありました。

東日本大震災からの復興支援や白鵬杯世界少年相撲大会の開催による競技人口の増加、また、本市の観光大使である「おおさき宝大使」に就任するなど、八面六臂の活躍でありました。特に震災後、本市を慰問され、相撲やちゃんこ鍋で多くの被災者を励まし、元気づけていただきました。

相撲の普及・拡大に多大な貢献を果たしてきた宮城野親方を失うことは、日本・世界の相撲界にとって一大損失でありましょう。

宮城野親方が角界を去ることは、残念でなりません。白鵬翔様にはより大きな世界で、新たな大横綱を目指して翔ばたいいただきたいと切望しております。

大崎市長 伊藤康志



いばのっ子 最後の運動会を全力で楽しみました



▲熱戦を繰り広げたちゃんばら合戦

5月18日、大崎市立下伊場野小学校で、令和7年度閉校記念事業「下伊場野小学校・地区合同運動会」が開催されました。

下伊場野小学校は令和7年度をもって閉校し、松山小学校と統合します。最後の運動会を盛り上げようと、保護者や地域住民のほか、卒業生も参加し、全校児童8人と共に、例年よりも多い8種目の競技に取り組みました。

競技では、児童と保護者対抗の玉入れやちゃんばら合戦などが行われ、白熱した戦いに歓声が上がりました。また、下伊場野小学校にまつわる〇×クイズでは、最終問題の「小学校にはたくさんの思い出が詰まっている」の問いに、全員が大きな声で「まる」と回答しました。

閉会式では、記念の「バルーンリリース」がありました。参加者それぞれの下伊場野小学校との思い出を乗せた色とりどりの風船が、澄み渡る青空へ舞い上がりました。

これからも地域との絆を感じながら、閉校までの限りある時間を大切に、歩んでいきます。



▲風船を大空へ放つ参加者

[広告]

LIXIL 住宅研究所 東和総合住宅(株)
アイフルホーム古川店

おかげさまで40周年

40周年

感謝キャンペーン

限定
40棟

100万ポイントプレゼント!

まずは
お気軽に
資料請求
から

キッチン
グレードアップ

トリプルガラス

ウルトラファイン
パブル

太陽光発電
システム

お好きな家電
(テレビ・エアコン)

ご来場特典

R 楽天ポイント最大5,000ptプレゼント!

事業者様用 **ご予約弁当** [広告]

昼食配食サービス

期間限定

**お試し半額提供も
いたしておりますので
是非ご利用ください。**

※写真はイメージです

- ①「医食同源」に基づいた優れた栄養バランスです。
- ②栄養士監修のメニューを手作り中心でお届けします。
- ③やわらかい食事にも対応します。
- ④豊富な経験と実績で安心安全な食を提供します。

向日葵給食センター

〒989-6127 大崎市古川宮内字筏畑8-5

☎0229-24-0068 FAX.24-0618

※イベント内容やご予算に応じたご予約弁当も揃っておりますのでお気軽にご相談下さい。